

取扱説明書

マイクロエレッサ
1226
1226J

CKDの製品を御採用頂きありがとうございます。

CKDの製品は全て厳しい品質管理のもとで造られていますので、安心してご使用いただけます。

本取扱説明書は、下記の3項目より構成されています。

- 製品に関する事項
- 注意事項
- 保守に関する事項

目 次

マイクロエレッサ

1226-1226J

SM-11398

1. 製品に関する事項

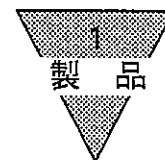
1-1 形式	1
1-2 内部構造図	2

2. 注意事項

2-1 取付け上の注意事項	3
2-2 使用上の注意	4

3. 保守に関する事項

3-1 ドレンの排出	5
3-2 マントルの交換	5
3-3 ボウル洗浄	6
3-4 ドレンユニットの動作	6

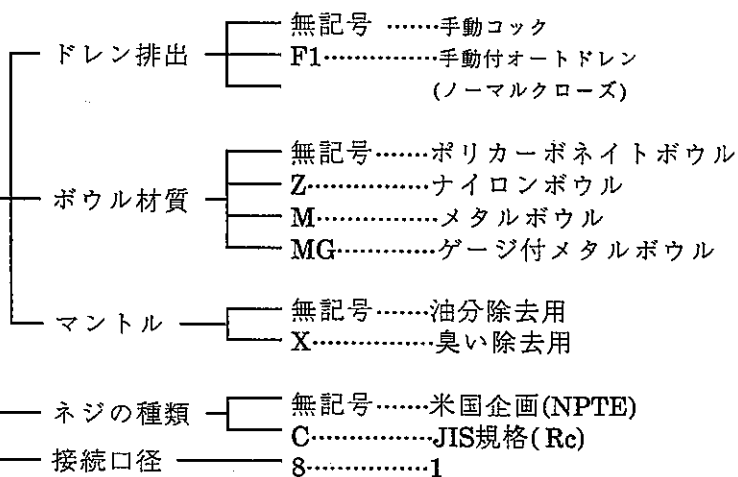


1. 製品に関する事項

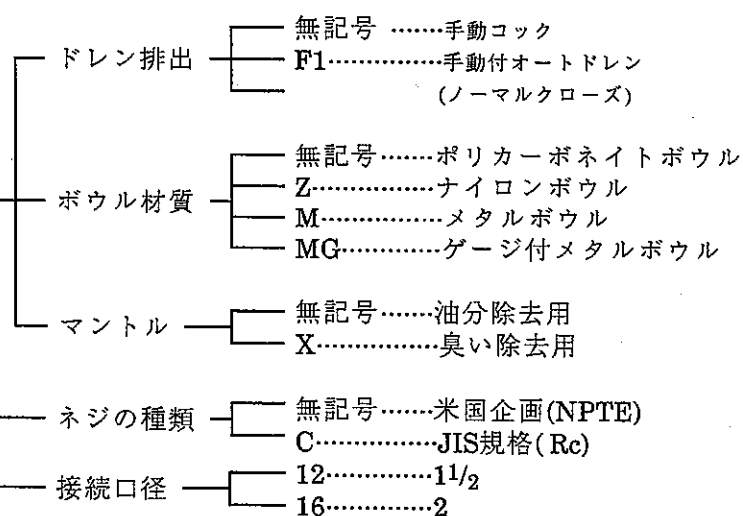
1-1. 形 式

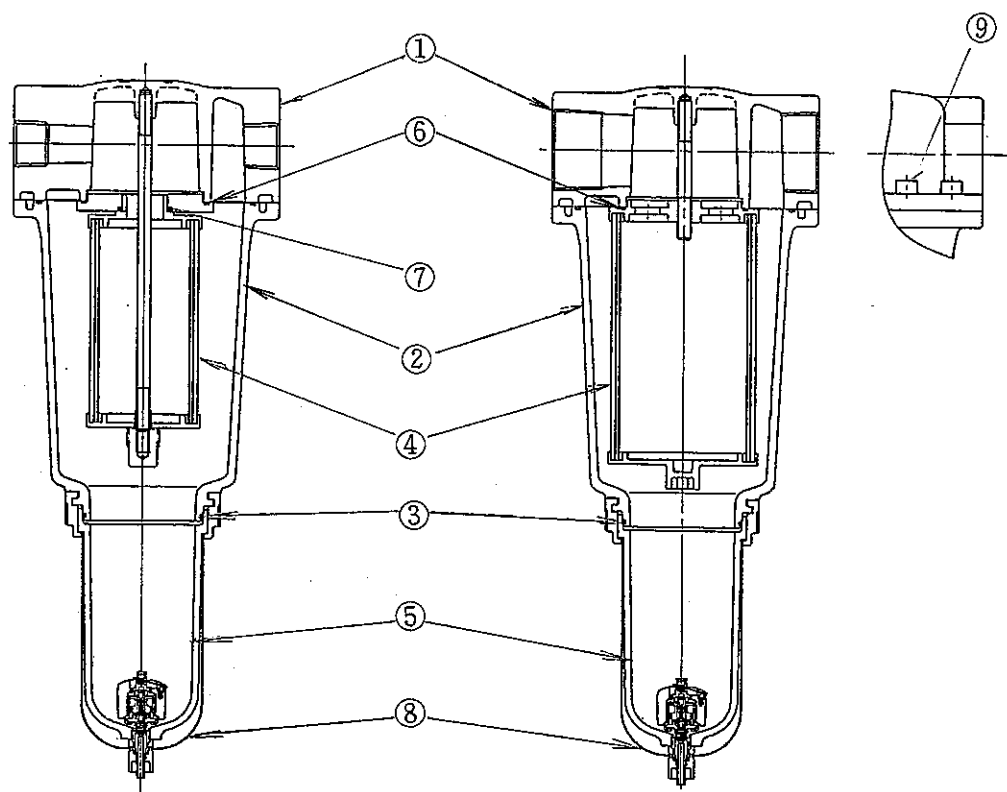
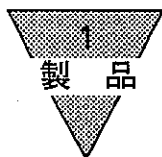
マイクロエレッサ

1226 - ○ ○ - ○



1226J - ○ ○ - ○





No.	部品名		形番		数量	備考
			1226	1226J		
1	カバー		-	-	1	
2	ボディ		-	-	1	
3	Oリング		78-061		1	
4	マントル組立	標準マントル	15-412B※	15-413B※	1	
		除臭用マントル	15-412X※	15-413X※	1	
5	ボウル組立	標準(無記号)	15-7161		1	
		ナイロンボウル(Z)	15-7161Z		1	
		メタルボウル(M)	15-5050		1	
		ゲージ付	15-5051		1	
		メタルボウル(MG)	15-5051		1	
		オートドレン付ボウル(F1)	15-7181		1	
		オートドレン付	15-7181Z		1	
		ナイロンボウル(F1Z)	15-7181Z		1	
		オートドレン付	15-7186		1	
		メタルボウル(F1Z)	15-7186		1	
		オートドレン付ゲージ付	15-7191		1	
		メタルボウル(F1MG)	15-7191		1	
6	Oリング		78-130		1	
7	Oリング		78-014	-	1	
8	ボウルガード		6080		1	
9	スクリーン		45-5000		10	M10

※1.Oリング“7”が添付されています。
 ※2.Oリング“6”が添付されています。

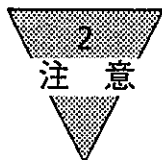
2.注意に関する事項

2-1. 取付け上の注意事項

1. エアの流れがマイクロエレッサ上面についている矢印の方向になるように取り付けてください。
2. マイクロエレッサのドレン 排出口が、下向きになるように取り付けてください。
3. 使用される空気圧機器のできるだけ近くに取り付けてください。
4. マイクロエレッサの接続口径が、エア配管より小さいものの使用は避けてください。
5. 周囲温度が、60℃以上になる場所での使用は避けてください。
6. 使用圧力が1.0MPa 以上にならないようにしてください。
但し、マントルの入気温度は54℃以下です。
7. マイクロエレッサの前には、エレメント(マントル)の寿命を長くするためにエアフィルタ(1126-12,16C-E)を取り付けてください。
8. マイクロエレッサにはマントルの寿命を知るために差圧計(形式GA400-8-P02)を必ず取り付けてください。
9. マントル交換および分解掃除の際、部品が取り外せるように床上700mm以上のところに取り付けてください。
10. 次のような部品がプラスチックボウルの近くにある場合は考慮してください。

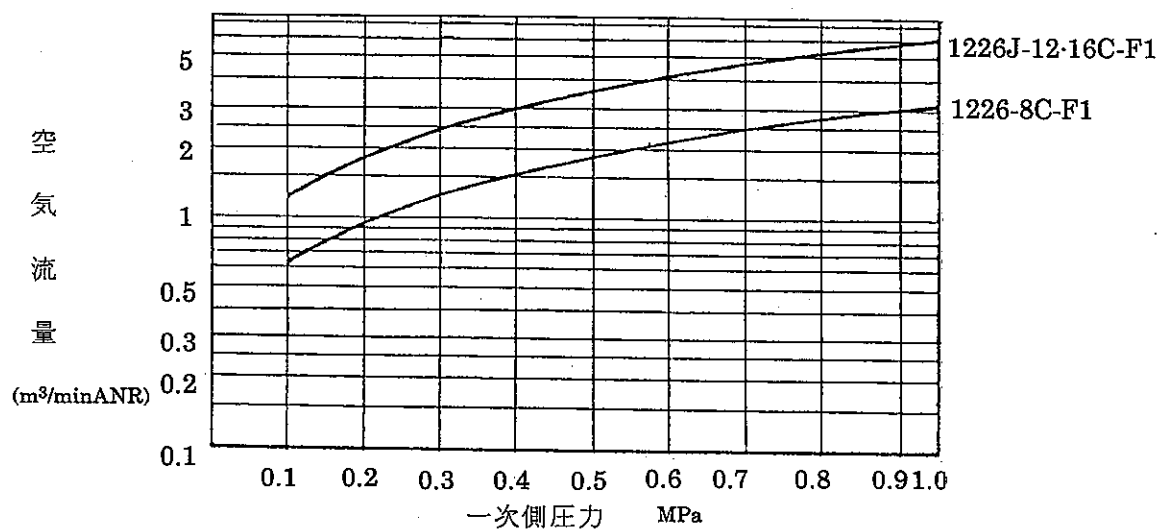
・アクリロニトリル
・アセトアルデヒド
・アセトン
・安息香酸
・エチルアミン
・エチルエーテル
・エチレンクロルンヒドリン
・塩化イオウ
・塩化メチレン
・塩酸
・オキシ塩化リン
・ガソリン
・ギ酸
・キシレン
・クレゾール
・クロロベンゼン
・クロロホルム
・三塩化リン
・酢酸
・四塩化エタン
・四塩化炭素
・シクロヘキサノン
・シクロヘキサン
・シクロヘキサノール
・ジオキサン
・ジメチルホルムアミド
・硝化綿(ニトロセルロース)

・硝酸
・水酸化カリウム溶液(5%以上)
・水酸化カリシウム
・水酸化ナトリウム溶液(5%以上)
・チオフェン
・テトラヒドロナフタリン
・トリクロールエチレン(トリクレン)
・トルエン
・二塩化エチレン
・ニトロベンゼン
・二硫化炭素
・パークロールエチレン
・ピリジン
・フェノール
・ブチル酸
・フッ化アンモニア
・フレオン
・ブロムベンゼン
・プロピオン酸
・ベンゼン
・ベンジンアルコール
・メチルアルコール
・ラッカーシンナー
・硫化アンモニア
・硫化ナトリウム
・硫酸
・リン酸エステル

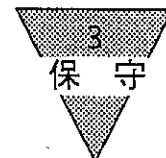


2-2.使用上の注意

- (1) マイクロエレッサには下記の流量以上のエアーを流すことはできません。使用する前にもう一度流量を確認してください。



- (2) マイクロエレッサの寿命を調べる差圧計(形式GA400-8-P 02)が取付いているか確認してください。
- (3) 上記の流量以下で使用するとマイクロエレッサの圧力損失は次のようになります。
 初期時 : 0.01MPa ランニング時 : 0.02~0.04MPa
- (4) マイクロエレッサは圧力損失が0.07MPa になったとき寿命となります。圧力損失が0.07MPa 以上での使用はしないでください。



3.保守に関する事項

3-1.ドレンの排出

ボウル内のドレンは、規定の量(ボウルガードに表示)に達する前に必ず排出してください。

- 手動コック形

ボウルの底部にあります手動コックを左へ回すことにより、ドレンが排出されます。なお、内径 $\phi 5.7 \sim \phi 6$ のナイロンチューブを直接接続することができます。

- オートドレン形

オートドレンは、ドレンが一定量溜まるとフロートが上がり弁が開いてドレンを自動的に排出します。なお、ドレン配管は下記に留意しておこなってください。

1. プラスチックボウル時は内径 $\phi 5.7 \sim \phi 6$ のナイロンチューブを使用してください。長さは5m以内でかつ立ち上がり配管は避けてください。チューブは直接接続できます。
2. メタルボウル時は、1/4"メネジが付いていますので、その部分を使用して内径 $\phi 6$ 以上の配管をほどこしてください。長さは5m以内でかつ立ち上がり配管は避けてください。

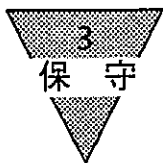
オートドレン形の使用圧力範囲は0.15~1.0MPaです。このオートドレンは手動排出も可能です。コックを左へ回すことにより排出できます。(但し、締め付けジョイント使用の際は手動廃止できません。)

3-2. マントルの交換

マントル④は、圧力損失が0.07MPa になったら、新品のマントル取り換えてください。マントルは洗浄して使用することはできません。

マントルの取換えは次の手順にしたがってください。

1. 圧縮空気の供給を止めてください。
2. カバーの締め付けスクリューを緩めます。
3. ボディ②を取りはずします。
4. マントルの下部ナットを左に回して外します。リテイニングナットでマントルを締め付けている場合はナットを外したのちマントルを外します。
5. 新しいマントルを入れ、ナットできつく締める。マントルを入れる前にナット及びマントルにOリングが組み付いているか点検する。
6. マントルの表面のプラスチックフォームを傷つけないように、ボディーを静かに取り付けます。



3-3. ボウル洗浄

ボウルや他の部品を洗浄するときは、家庭用中性洗剤を使用してください。その他の洗剤は絶対に使用しないでください。

3-4. ドレンユニットの動作

フロート式オートドレンは常に正常に動きますが、万一うまく動かない場合が新品とお取り換えになることをお奨めいたします。